



やつくり

多治見市立南姫中学校

学校報 NO. 2

令和7年4月30日

<http://school.city.tajimi.lg.jp/mhime/>

今年度は、南姫中の少人数という強みを生かす活動として、異年齢集団での縦割り活動を多く取り入れていこうと考えています。その一つとして、朝活動の縦割り活動で「校歌の合唱練習」を行いました。3年生が、1・2年生に「歌詞は覚えられたかな?」「わからないところはある?」と声をかけたり、自らが声を出して見せたりして、頼もしい3年生の姿がありました。他学年との交流を通して、1年生の不安は少しずつ減り、全校の仲が少しずつ深まってきているように感じています。



学び方を学ぶ

校長 後藤 佐恵子

南姫中学校では、今年度、学活の授業での「話し合い活動」を通して、「主体的に取り組む生徒の育成」をめざしています。

私たちが考えている話し合いは、「一人でも多くの生徒が納得できるように、話し合いの過程において、関わり合いを通して、多面的・多角的に考え、相手の立場に立って問題解決策を見だし、合意形成を図る」活動です。ただ、生徒たちはこの話し合い活動を行ってきても、学び方を学ぶために全校学活を行いました。

話し合いの議題は「みんなが仲良くなる全校遊びを決めよう」。先生が司会者になり、話し合いを進めました。始めに事前にとったアンケート結果から、自分がしたい遊びを発表しました。いろんな遊びが出る中で、議題にある「仲良くなるとはどういうことか」を、縦割りグループで考えました。目的について再確認することで、自分目線から、仲間との繋がりを考える意見が多く出てきました。

この日、合意形成を図るところまではいけませんでした。焦点を絞って考えることで、意見の広がりや深まりが生まれることを実感できたように思います。



生徒たちが主体的に取り組むために、答えを示すのではなく、どうすれば答えを導き出すことができるか、学び方を身に付けていけるように指導していきます。そして、生徒の「学ぶことが楽しい」を生み出していきたいと思っています。

【校則改定のお知らせ】 靴 & 靴下の 色の自由化

昨年度より、生徒会で「靴・靴下の色」について、様々な方の立場になって考えるなど、議論を重ねてきました。生徒たちからの「困っていないから変えなくていい」「白だと汚れが目立つから、違う色がいい」等、様々な意見から、生徒会が意見をまとめ、以下の通りとなりました。

◇ 靴 & 靴下の 色は、自由。ただし、中学生らしい物を選んで履く。

*中学生らしい物とは、試験や面接などで履いていく物。

*今、履いているものを変えるということではなく、必要に応じて変える。

色を決めるという意見も出ましたが、教育目標のめざす姿の一つでもある「自ら考え判断し行動することができる南姫中生でありたい」という思いを大切に、自由となりました。

生徒たちが考えて動いた校則改定です。保護者・地域の皆様、温かく見守ってくださいますようよろしくお願いします。



南姫中 HP